



# MDP工法と従来開削工法の比較

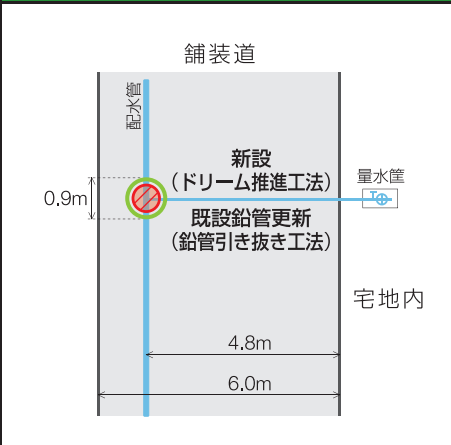
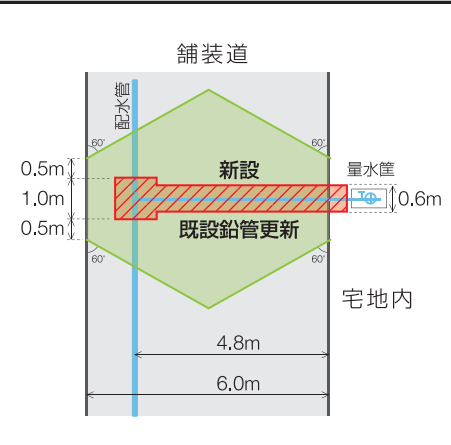
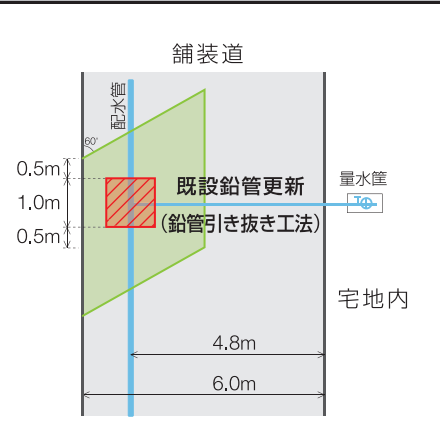
## (給水管工事例)

	MDP工法の復旧形態 (新工法)	開削工法の復旧形態 (従来工法)	既設鉛管引き抜き工法の復旧形態 (従来工法)
工法概要	<p>円形0.9m立坑掘削の給水管新設及び鉛管更新非開削工法。新設時はドリーム工法推進機を併用、更新時は鉛管引き抜き機を併用。立坑はケーシング内をエアード解しエアード吸引掘削する。</p>	<p>従来の開削工法。配水管を分岐して給水管を取り出す箇所をバックホウなどを用い、全面的に開削する。仮復旧後、自然転圧を待って後に大きく影響面積を含めて舗装本復旧をする。</p>	<p>配水管から給水管を分岐している箇所をバックホウなどを用いて、従来開削工法で道路を半面掘削し、非開削部分に埋設されている鉛管を鉛管引き抜き機を併用して古い鉛給水管を引き抜き、新たな給水管を布設し、仮復旧後に大きく影響面積を含めて舗装本復旧する。</p>

道路掘削及び舗装本復旧形態図

 実掘削面積

 舗装本復旧面積

	MDP工法復旧形態図	従来全面開削工法復旧形態図	既設鉛管引き抜き工法復旧形態図
平面図			
断面図	